

平成 29 年度 環境省における登山道関係の取組について

1. 国立公園の公園計画の点検

2. グリーンワーカー事業

- 清掃活動事業（層雲峡、勇駒別、糠平、十勝三股の各集団施設地区等利用拠点の美化清掃）
- 美瑛富士携帯トイレブース利用状況調査
 - ※上川中部森林管理署、美瑛富士トイレ管理連絡会、自然保護官事務所で協定の締結予定。
- 登山者カウンターの設置による登山道利用者数調査
- 高原温泉・銀泉台自動車利用適正化対策業務
- スノーモビル乗入れ対策（大雪山系全体の飛行監視、パトロール）

3. 自然ふれあい事業

- パークボランティア活動（登山道維持管理、外来種対策、利用者指導、モニタリング等）
- 層雲峡ビジターセンター及びひがし大雪自然館を拠点とする自然観察講座
- 地元の子どもに、ボランティアによる登山道の補修や維持管理を体験してもらうイベント（上川中部森林管理署と共同で8月18日予定。）

4. 野生生物の保護管理事業

- 然別湖ウチダザリガニ対策事業
- 高原温泉ヒグマ情報センターの管理運営

5. 施設整備・維持管理事業

- 環境省が管理する沼ノ原木道の巡視、トムラウシ登山道の巡視、修繕及び誘導標識の設置
- 環境省が管理する沼ノ平～姿見の池登山道の巡視、修繕、腐朽した誘導標識の更新。
修繕の一部については、ボランティアの参加を募って実施（8月19日予定。）
- 松仙園地区の整備に向けた実施設計、適正利用推進協議会の開催
- 白雲岳避難小屋の建替え検討
- 銀河流星ノ滝線歩道の整備検討
- 勇駒別博物展示施設整備
- 糠平中央園地整備
- 天人峡園地橋梁整備（北海道への施工委任）

6. 大雪山国立公園における国立公園と国有林の連携推進会議

(大雪山国立公園連絡協議会関係)

- 大雪山国立公園フォーラムの開催
- 大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言とパートナーシップ事業実施に向けたシンポジウムの開催（登山者との意見交換）
- 登山口における携帯トイレ普及呼びかけ（層雲峡黒岳7合目、美瑛富士登山口、トムラウシ短縮登山口を想定）
- 大雪山オリジナルパッケージの携帯トイレの作成
- 登山道の維持管理に係る技術講習会への協力

平成29年度パークボランティア連絡会活動年間計画

日程	場所	行事	内容等
4月11日(火)	東川RH	○4月役員会	18時～
5月8日(月)	士幌町	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
5月12日(金)	上川町	○運営協議会総会	
5/13(土)～14(日)	十勝岳温泉 凌雲閣	○5月役員会 ○連絡会総会(十勝岳温泉凌雲閣) ●春山研修	1日目:総会 2日目:春山研修
5月31日(水)	層雲峡温泉	●自然公園クリーンデー	清掃活動
6月6日(火)	東川RH	○6月役員会	18時～
6月7日(水)	旭岳温泉	●自然公園クリーンデー	清掃活動
6月9日(金)	層雲峡温泉	●外来種防除活動(ルビナス等)	防除活動
6月14日(水)			
6月10日(土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ補強、清掃
6月18日(日)	旭岳山頂～ 間宮岳		ロープ補強、清掃
6月23日(金)、 26日(月)	赤岳	●高山蝶パトロール週間(週2回程度) ※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリングも含む	密猟防止パトロール
6月25日(日)	赤岳、緑岳、富 良野岳	●高山蝶重点パトロール	現地重点パトロール
7月4日(火)	東川RH	○7月役員会	18時～
7月10日(月)～ 13(木)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	ザリガニ防除
7月7日(金)	糠平源泉郷	●クリーンデー	清掃活動
7月23日(日)	美瑛富士	●携帯トイレブース点検パトロール	点検パトロール
7月26日(水)	愛山溪	●登山道整備(永山岳方面ササ刈)	笹刈り
8月1日(火)	東川RH	○8月役員会	18時～
8月6日(日)	大雪山全域	●自然公園クリーンデー-白金温泉・天人峡温泉	清掃活動
8/8(火)、10(木)、 16(水)、18(金)	旭岳周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動週間	防除活動
8月18日(金)	十勝三股	●植生復元活動	下草刈り
8月23日(水)	銀泉台入口～	●外来種防除活動(オオハンゴンソウ、フラ ンスギク、セイヨウオオマルハナバチ等)	防除活動
8月30日(水)	コマクサ平		
8月27日(日)	原始ヶ原	●湿原植生復元モニタリング	モニタリング
8月28日(月)	姿見の池	●東川第三小学校「山の学校」引率	自然解説
8月28日(月)	沼ノ平	●湿原植生再生(モニタリング)	モニタリング
9月5日(火)	東川RH	○9月役員会	18時～
9/16(土)～24(日)	赤岳銀泉台	●マイカー規制対応 ※土日祝日+月・水・金/週	自然解説活動、 受付補助
9月21(木)～10 月1日(日)	高原温泉沼巡 りコース	●紅葉対応 ※土日祝日+月・水・金/週	自然解説活動、 受付補助
9月30日(土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
10月1日(日)	旭岳山頂	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
10月3日(火)	東川RH	○10月役員会	18時～
10月中旬	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動
10月中旬	十勝三股	●施設跡地植生復元	植樹及び保護柵設置
1月中旬	旭川市内	○1月役員会および新年会	
2/3(土)～4(日)	場所未定	○冬期研修会	
1月～3月中旬(2 回程度)	愛山溪他	●スノーモビル等乗入れ規制合同パトロー ル、重点パトロール	
年間		●事務所行事への協力(観察会・フォーラム・協働型維 持管理支援など) ●層雲峡VCにおける来館者への自然解説等 ○スノーモビル乗り入れ規制会議等の出席 ※一般活動は除く。	

平成 29 年度協働型維持管理支援 スケジュール

日 程	場 所	行 事	内容等
6 月 9 日 (金)	然別湖	◇【協働型】然別自然休養林外輪山登山道整備	登山道ササ刈り
6 月 13 日 (火)	美瑛町	○表大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議
6 月 16 日 (金)	帯広市内	○東大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議
8 月 20 日 (日)	愛山溪	◇【協働型】登山道補修セミナー	登山道補修講習会
8 月 24 日 (木)	裾合平	◇センサー工・ヤシ土嚢袋設置	登山道補修資材設置
9 月中～10 月	白雲山	◇【協働型】登山道補修セミナー	登山道補修講習会
12 月中旬	旭川市内	○表大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議
冬期	帯広市内	○東大雪地域登山道関係者による情報交換会	会議

大雪山国立公園における国立公園と国有林の 連携推進会議設置要領

(目的)

第 1 条 大雪山国立公園における国立公園と国有林の連携推進会議（以下「会議」という。）は、大雪山国立公園における国立公園と国有林の連携の強化を図ることを目的とする。

(内容)

第 2 条 会議においては、国立公園、国有林の管理について、情報交換、意見交換を行うものとする。

(構成)

第 3 条 会議は、上川自然保護官事務所、東川自然保護官事務所、上士幌自然保護官事務所、上川中部森林管理署、上川南部森林管理署及び十勝西部森林管理署東大雪支署により構成するものとする。

(開催)

第 4 条 会議は、定期的を開催するほか、必要に応じて開催する。

(庶務)

第 5 条 庶務は上川中部森林管理署及び上川自然保護官事務所において行う。

(その他)

第 6 条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は会議に諮って定めるものとする。

附 則 この要領は平成 28 年 9 月 29 日から適用する。

附 則 この要領は平成 29 年 5 月 23 日から適用する。

大雪山国立公園におけるトイレの現状

上川・東川・上士幌自然保護官事務所

場所	市町	避難小屋・山小屋	野営場	トイレ	野外し尿の状況	携帯トイレブース	回収ボックス	携帯トイレ販売			
山岳地	黒岳	上川	有(管理人有)	有(野営指定地)	有	少	無	—	—		
	裏旭	東川	無	有(野営指定地)	無	少	無	—	—		
	白雲岳	上川	有(管理人有)	有(野営指定地)	有	少	無	—	有(予定) ○協力金方式により希望者に配布予定		
	忠別岳	上川	有	有(野営指定地)	有	無	無	—	—		
	ヒサゴ沼	新得	有	有(野営指定地)	有	無	無	—	—		
	南沼	新得、美瑛	無	有(野営指定地)	無	多	有	—	—		
	沼ノ原大沼	上川	無	有(野営指定地)	無	未確認	無	—	—		
	ブヨ沼	上士幌、上川	無	有(野営指定地)	無	無	無	—	—		
	小天狗のコル	上士幌	無	有(野営指定地)	無	無	無	—	—		
	ニベソツ山前天狗	上士幌	無	無	無	少	有	—	—		
	双子池	美瑛、新得	無	有(野営指定地)	無	多	無	—	—		
	美瑛富士	美瑛、新得	有	有(野営指定地)	無	多	有	—	—		
	十勝岳避難小屋	美瑛	有	無	無	多	無	—	—		
	上ホロカメットク	上富良野、新得	有	有(野営指定地)	有	多	無	—	—		
登山口	層雲峡	上川	無	有	有	無	無	有	回収は上川町	有	○層雲峡ビジターセンター ○黒岳ロープウェイ売店(りんゆう観光) ○層雲閣グランドホテル(販売予定) ○ホテル大雪(販売予定)
	愛山溪温泉	上川	有	無	有	無	無	有	回収は上川町	無	○愛山溪倶楽部
	銀泉台	上川	無	無	有	無	無	無	—	無	—
	大雪高原温泉	上川	有	無	有	無	無	無	—	無	—
	姿見	東川	有	無	有	無	有	無	—	有	○旭岳ビジターセンター ○旭岳ロープウェイ※旭岳VC出張所 ○白樺荘 ○ラピスタ大雪山(販売予定) ○湧駒荘(販売予定) ○グランドホテル大雪(販売予定) ○ペアモンテ(販売予定)
	天女ヶ原	東川	無	有	有	多	無	有	回収は東川町	有	○旭岳ビジターセンター ○旭岳ロープウェイ※旭岳VC出張所 ○白樺荘 ○ラピスタ大雪山(販売予定) ○湧駒荘(販売予定) ○グランドホテル大雪(販売予定) ○ペアモンテ(販売予定)
	天人峽	美瑛	無	無	無	少	無	無	—	無	○天人閣(販売予定) ○しきしま荘(販売予定)
	クチャンベツ	上川	無	無	有(仮設)	無	無	無	—	—	—
	美瑛富士登山口	美瑛	無	無	無	無	無	無	—	無	—
	白金温泉望岳台歩道登山口	美瑛	無	有	有	無	無	有	回収は美瑛町	有	○びえい白金温泉観光組合 ○湯元白金温泉ホテル ○大雪山白金温泉観光ホテル ○ホテルパークホテル
	望岳台	美瑛	無	無	有	無	無	無	—	無	—
	吹上温泉	上富良野	無	有	有	無	無	有	回収は上富良野町	有	○白銀荘
	十勝岳温泉	上富良野	無	無	有	無	無	有	回収は上富良野町	有	○十勝岳温泉凌雲閣 ○カミホロ荘
	原始ヶ原登山口	富良野	有	無	有	無	無	無	—	無	—
	シュナイダーコース登山口	上士幌	無	無	有	無	無	無	—	無	—
	ユニ石狩岳登山口	上士幌	無	無	無	無	無	無	—	無	—
	トムラウシ温泉コース登山口	新得	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は新得町	有(予定)	○トムラウシ温泉東大雪荘
	トムラウシ短縮コース登山口	新得	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は新得町	有(予定)	—
	十勝岳新得コース登山口	新得	無	無	無	無	無	無	—	無	—
	ニベソツ山登山口	上士幌	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は上士幌町	無	—
	ウペペサンケ山登山	上士幌	無	無	無	無	無	無	—	無	—
	天宝山登山口	上士幌	無	無	無	無	無	無	—	有(予定)	○ひがし大雪自然館
	南ペトウトル山登山口	鹿追	無	無	有	無	無	無	—	無	—
	白雲山然別湖側登山口	鹿追	無	無	有(仮設)	少	無	無	—	無	—
	白雲山士幌側登山口	士幌	無	無	有	少	無	無	—	無	—
	東ヌプカウシヌプリ登山口	鹿追	無	無	無	無	無	無	—	無	—
西ヌプカウシヌプリ登山口	鹿追	無	無	有	無	無	無	—	無	—	

○その他周辺都市部等での携帯トイレ販売状況

JR新得駅(新得町)、岡本スポーツ(新得町)、アルペン(音更町)、スポーツデポ(帯広市)、スーパースポーツゼビオ(帯広市)、秀岳荘 旭川店(旭川市)

W125×H245

アートポスト 135 k g



大雪山国立公園

Daisetsuzan National Park

携帯トイレ

Disposable toilet bag

1 回分

高密度チャック袋 1枚
+
吸収シート入り内袋 1枚



携帯トイレの使用にご協力ください
Please use a disposable toilet bag.
ポイ捨ては厳禁です
Littering is strictly prohibited.



使用方法

Disposable toilet usage has been printed on the bag.

- ① 上の部分を切り取ると結び紐になります。
- ② チャック袋から便袋を取り出し、広げてから便座に被せて使用します。
- ③ 使用後は中の空気を抜いて、袋の口を結びます。
- ④ チャック袋に入れ、ジッパーをとじます。
- ⑤ 登山口にある専用の回収箱に捨てるか、家に持ち帰り処分してください。

※各自治体の処理に従ってください。

未使用の場合

Please take away your as emergency toilet in the case of unused.

この携帯トイレは災害備蓄用トイレと同等の品質を備えています。
お持ち帰りいただいて、災害備蓄用、介護用、ドライブなどでの緊急用トイレとしてご利用ください。(7年間保管可能)



SINCE 1982

株式会社 総合サービス



外装



台紙

Sanita-clean

日本製

MADE IN JAPAN

トムラウシ山では

携帯トイレ を使いましょう!

トムラウシ
温泉でも販売
しています

美しいトムラウシ山を守るために
南沼汚名返上プロジェクトにご協力を!

南沼ってどんな場所?

トムラウシ山頂まで30分。チングルマやエゾコザクラ
などのお花畑に囲まれた、美しい野営指定地です。
大雪山国立公園の特別保護地区に指定されています。



実は“日本一汚い”野営指定地!? -南沼のトイレ問題-

トムラウシ南沼野営指定地にはトイレがなく、携帯トイレブースのみが設置されています。しかし、携帯トイレは一部の登山者にしか使われず、周辺では深刻なトイレ問題が起きています。“日本一汚い”野営指定地との声も…



排泄物やティッシュが数十箇所に散乱



トイレのためにお花畑が踏まれ、裸地化

トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト

“日本一汚い”という汚名を返上するべく、行政や山岳団体などが連携して、携帯トイレの普及活動などに取り組んでいます。トムラウシ山の環境保全のため、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



携帯トイレの使い方

1 購入

十勝では以下の場所で販売しています。

新得町内

- ・トムラウシ温泉東大雪荘
- ・岡本スポーツ
- ・新得ステラステーション（JR新得駅構内）

上土幌町内

- ・ひがし大雪自然館

帯広市内

- ・スポーツデポ 帯広店
- ・スーパースポーツゼビオ 帯広いっきゅう店

音更町内

- ・アルペン音更店

道内の販売店は
右のQRコードから
ご覧いただけます。



2 使用

野営指定地に携帯トイレブースがあります。ブース内の便座に便袋をセットし、用を足した後、持ち帰ってください。



3 処分

- ① 自宅に持ち帰って処分
【もしくは】
- ② 登山口の回収BOXに廃棄



※携帯トイレ以外のゴミは絶対に入れない
てください。

トムラウシ山周辺マップ

トムラウシ南沼野営指定地 【携帯トイレブースあり(1基)】



温泉コース登山口 【トイレと回収BOXあり】



忠別岳避難小屋・野営指定地 【トイレあり】



ヒサゴ沼避難小屋・野営指定地 【トイレあり】



短縮コース登山口 【トイレと回収BOXあり】



トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト（新得地区登山道等維持管理連絡協議会 山岳トイレ環境対策部会）

北海道十勝総合振興局（事務局）・環境省上土幌自然保護官事務所・十勝西部森林管理署東大雪支署・北海道上川総合振興局・新得町・十勝山岳連盟・新得山岳会・山のトイレを考える会
【お問い合わせは事務局 ☎0155-26-9028 へ】

> 環境省 > 日本の国立公園 > 大雪山国立公園 > 各種資料
<http://www.env.go.jp/park/daisetsu/data/index.html>

■ (2) 各種資料

▲ 大雪山国立公園における登山道利用者数調査

■ 大雪山国立公園における登山道利用者数調査

大雪山国立公園では、登山口にセンサー式の登山者カウンターを設置し、登山道利用者数を把握する試みを実施しています。このページでは、調査の概要とその結果に関する情報を提供します。

■ 調査の目的

- 主要な登山口ごとの入山者数を、無人の登山者カウンターを用いる簡易な手法により調査することで、大雪山国立公園の山岳地域におけるおよその入山者数を把握し、大雪山国立公園の管理運営の基礎的資料として活用することを目的とします。
- 登山口ごとの入山者数をもとに、①月別の入山者カウント数、②登山口ごとの入山者カウント数を推定するとともに、今後調査結果を蓄積し、③同じ手法を用いることにより得られる年ごとの変動を把握することを当面の目的とします。

■ 計測方法の概要

- 本調査では、主に、熱感知式カウンター、赤外線式カウンターを設置して調査を行いました。これら備品の数は限られるため、設置できない箇所では、人感センサー式カメラや入林簿等の資料を活用しました。
- それぞれの調査方法の特性は次のとおりです。

(1) 熱感知式カウンター

- 人体から放射された赤外線（熱）を検知し、通行者数をカウントします。
- 大雪山国立公園の各登山口では、動物の影響、誤作動等により、実数よりも1～5割程度多くカウントされる傾向にあります。

(2) 赤外線式カウンター

- 本体から赤外線ビームを発射し、反射した物体を検出し、カウントします。
- 一般的に霧の発生により実数より多くカウントされ、また、利用者が集中する箇所では実数よりもより少なくカウントされますが、大雪山国立公園の各登山口では、これら誤カウントが生じやすい要因は小さいため、実数に近い値がカウントされているものと考えられます。

(3) その他

- 人感センサー式カメラについては、人体や動物の放射する遠赤外線を読み取り、自動的にシャッターを切って写真撮影や録画を行なうもので、実数に近い値がカウントできます。

- 入林簿等資料については、一般的に実際の数、入林簿資料よりも多いと考えられます。

■ 調査結果

▲平成 28 年度調査結果 [PDF●KB]

(次年度以降、ここに結果を追記)

■ 課題と今後の対応

- 大雪山国立公園では、維持管理及び集計に要する労力が最も少ない熱感知式カウンターの誤差が比較的大きい状況にあります。
- このため、登山者カウンター等の機器自体の改善が期待されます。また、精度が高い場合の環境条件や人の動きを分析し、より精度が高い状況になるよう配置場所の工夫等が課題です。

■ 調査協力

- 本調査は、上川中部森林管理署、上川南部森林管理署、十勝西部森林管理署 東大雪支署、上川総合振興局南部森林室との連携、協力のもと実施しました。

■ 参考

- 大雪山国立公園では、平成 26 年度頃から順次、各登山口において、登山者カウンターの設置を行ってきました。
- 平成 28 年度には、大雪山国立公園の主要な登山口で登山者カウンターを設置して入山者数を把握できる体制を整えることができたため、今般その結果を公表することとしたものです。

平成28年度大雪山国立公園入山者数の推計結果(登山者カウンター等カウント値結果)

● 対象とする登山口

平成28年度は、下表の登山口を対象とした。位置図は別紙のとおり。なお、現時点では利用者が少なく、登山者カウンターを設置して人数を計測しても、全体数の誤算の範囲に含まれてしまうと考えられる登山口は対象にしていない。

● 結果の概要

①月別の入山者数は、最も多い月が9月、その次が7月であると考えられる。

②入山者が多い上位3登山口は、黒岳登山口、姿見の池(旭岳登山口)、銀泉台登山口である。

なお、熱感知式カウンターの精度検証の結果から入山者数の実数はカウント値よりも一定程度少ないと考える必要がある。平成28年度6月～10月期の大雪山国立公園の年間のカウント数を単純に合計した値について、これまでに実施した精度検証の結果から、仮に誤差が約110%～148%と仮定すると、大雪山国立公園全体の入山者数は約5～10万人程度の間にあると考えられる。

登山口	年間	6月	7月	8月	9月	10月	推計方法	カウンター設置期間
1 黒岳登山口	約35000程度	—	約11000程度	約8500程度	約12000程度	約4400程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年7月4日～10月8日
2 銀泉台登山口(第一花園下)	約11000程度	約300程度	約3600程度	約1500程度	約5100程度	約600程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年6月24日～10月3日
3 高原温泉登山口(緑岳コース)	約3500程度	約100程度	約2000程度	約700程度	約400程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年6月26日～10月2日
4 高原温泉登山口(沼巡りコース)	約4000程度	約100程度	約500程度	約300程度	約2300程度	約900程度	ヒグマ情報センター利用者数資料	—
5 クチャンベツ登山口	約800程度	—	約700程度	—	—	—	熱感知式カウンターからの推計	平成28年7月3日～10月4日
6 愛山溪温泉登山口	約1600程度	0～50程度	約400程度	約300程度	約700程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年6月29日～10月5日
7 姿見の池(裾合平方面)	約8700程度	—	約3000程度	約1800程度	約3700程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年7月12日～10月13日
8 姿見の池(旭岳方面)	約22000程度	—	約4800程度	約7700程度	約8200程度	約1100程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年7月15日～10月13日
9 美瑛富士登山口	約900程度	0～50程度	約200程度	約300程度	約300程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年7月14日～10月27日
10 天人峽登山口	約1200程度	—	約300程度	約600程度	約200程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	平成28年7月8日～10月12日
11 十勝岳登山口(美瑛岳方面)	約700程度	—	約300程度	約200程度	約100程度	—	人感センサー式カメラからの推計	平成28年7月19日～9月29日
12 十勝岳登山口(十勝岳方面)	約2900程度	—	—	約1300程度	約1600程度	—	人感センサー式カメラからの推計	平成28年7月19日～9月29日
13 十勝岳新得側登山口	約100程度	0～50程度	40～60程度	0～50程度	—	—	入林簿からの推計	—
14 トムラウシ山(短縮コース)登山口	約1500程度	約100程度	約900程度	約500程度	—	—	赤外線式カウンターからの推計	平成28年5月23日～10月26日
15 トムラウシ山(温泉コース)登山口	約200程度	40～60程度	40～60程度	0～50程度	0～50程度	40～60程度	赤外線式カウンターからの推計	平成28年5月23日～10月25日
16 石狩岳登山口	約300程度	40～60程度	約200程度	50～100程度	—	—	赤外線式カウンターからの推計	平成28年5月24日～9月21日
17 ウペサンケ山登山口	約300程度	40～60程度	約200程度	50～100程度	—	—	赤外線式カウンターからの推計	平成28年5月24日～10月5日
18 ニペソツ山登山口	約1100程度	約100程度	約600程度	約300程度	—	—	熱感知式カウンターからの推計	平成28年5月24日～9月14日
19 白雲山土幌側登山口	約700程度	約200程度	約200程度	約100程度	50～100程度	約200程度	国有林入林簿からの推計	—
20 白雲山鹿追側登山口	約1400程度	—	—	約300程度	約500程度	約600程度	国有林入林簿からの推計	—
21 東ヌブカウシヌブリ登山口	約900程度	50～100程度	約300程度	約100程度	約200程度	約200程度	国有林入林簿からの推計	—
22 南ペトウトル山登山口	0～50程度	—	—	—	—	0～50程度	国有林入林簿からの推計	—

(表の作成にあたっての注意事項)

● 計測手法ごとに実数に対して多い又は少ない傾向にあるといった計測値の特性が異なること、同じ計測手法であっても熱感知式カウンターの場合は場所により誤差が異なることも考慮に入れて、次のように取り扱った。

①登山口ごとに、月別にカウントした生データの値を記入した。登山口ごとの年間合計と、月別の合計値は、これらの値を単純に足し合わせた値である。

②明らかなエラー値については、除去した。

・姿見の池(裾合平方面)10月の生データは、166,470。データを確認し、10月に166,310の誤計測があったものと判断し、166470-166310=160とした。下記③の表記に従い、「約200程度」としている。

③上記①で求められた値のそれぞれについて、次のように表記した。

・1000以上の数値については、有効数字を左2桁として、3桁目を四捨五入した。

・100～999の数値については、10の位を四捨五入した。

・0～39の数値については「0～50程度」、40～60の数値については「40～60程度」、61～99の数値については「50～100程度」と表記した。

●上記の操作を行ったため、次の点に注意が必要である。

①登山口ごとの各月別のカウント値の合計と登山口ごとの年間のカウント値の合計は一致しない②各月の登山口ごとの人数の合計と、各月の合計の人数は一致しない。

●登山者カウンターは、雪解け後、できる限り早い時期に設置しようとしているため、設置以前に入山した登山者は把握できない。積雪により登山者カウンターが回収することができない可能性があるため、回収を急いだ登山口については、撤去後の登山者は把握できない。

●参考

銀泉台(第一花園上)でも計測をしており、その値は、年間約8,400程度、6月約200程度、7月3,300程度、8月約1,100程度、9月3,500程度、10月400程度であった。銀泉台(第一花園下)の計測値との差は、銀泉台(第一花園)のみを探勝した人の数を意味する。

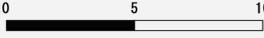
姿見の池周回コースのみを散策した者の数は、この表には含まれていない。

クチャンベツ登山口に至る林道が平成28年7月31日の大雨で通行止めとなったため、8月以降同登山口から入山する登山者はいない。

十勝岳新得側登山口、石狩岳登山口、ニペソツ山登山口に至る林道が平成28年8月までの大雨で通行止めとなったため、9月以降これら登山口から入山する登山者はいない。

平成28年度登山者カウンター設置等箇所 位置図

大雪山グレード



■大雪山グレード (利用体験ランク)

- グレード5 『大雪山の極めて厳しい自然に挑む登山ルート』
- グレード4 『大雪山の厳しい自然に挑む登山ルート』
- グレード3 『大雪山の自然を体感する登山ルート』
- グレード2 『大雪山の自然とふれあう軽登山ルート』
- グレード1 『大雪山の自然とふれあう探勝ルート』
- 非適用 (登山道として供用していません)

注) グレード5のうち点線表示のルートは次のとおりですので、注意して下さい。
 ・台地ゲートから三川台のルートは、一般供用された登山道ではありません。
 所定の手続きをとり、自己責任で利用して下さい。
 ・三笠新道分岐から高根ヶ原分岐の三笠新道は、ヒグマとの軋轢を避けるため利用期間を限定している登山道です。夏山シーズンでの利用はできません。

■主なアクセス道

- 国道・道道 — 町道 - - - - ロープウェイ・ペアリフト
- 林道 (G 施錠ゲート) (● 現在通行止)

①	黒岳登山口	熱感知式カウンター
②	銀泉台登山口(第一花園上・下)	熱感知式カウンター
③	高原温泉(緑岳コース)登山口	熱感知式カウンター
④	高原温泉(沼巡りコース)登山口	ヒグマ情報センター利用者数資料
⑤	クチャンベツ登山口	熱感知式カウンター
⑥	愛山溪温泉登山口	熱感知式カウンター
⑦	姿見の池(裾合平方面)	熱感知式カウンター
⑧	姿見の池(旭岳方面)	熱感知式カウンター
⑨	美瑛富士登山口	熱感知式カウンター
⑩	天人峡登山口	熱感知式カウンター
⑪	十勝岳登山口(美瑛岳方面)	人感センサー式カメラ
⑫	十勝岳登山口(十勝岳方面)	人感センサー式カメラ
⑬	十勝岳新得側登山口	入林簿
⑭	トムラウシ山(短縮コース)登山口	赤外線式カウンター
⑮	トムラウシ山(温泉コース)登山口	赤外線式カウンター
⑯	石狩岳登山口	赤外線式カウンター
⑰	ウペペサンケ山登山口	赤外線式カウンター
⑱	ニペソツ山登山口	熱感知式カウンター
⑲	白雲山土幌側登山口	入林簿
⑳	白雲山鹿追側登山口	入林簿
㉑	東ヌプカウシヌプリ登山口	入林簿
㉒	南ペトウトル山登山口	入林簿